



第 27 号

平成 27 年 5 月 15 日

発行・編集

栗駒高原森林組合

栗駒桜田街道西11の96

TEL (0228) 45-3311

FAX (0228) 45-3312

栗駒高原森林組合第13回

平成27年度
第13回通常総代会
(2頁に関連記事)



目

次

- ◇組合長挨拶…………… 2
- ◇第13回通常総代会…………… 2
- ◇「新役員」決まる…………… 3
- ◇2015栗駒高原森林まつり…………… 4
- ◇樹木の豆知識シリーズ⑳…………… 5

- ◇木材市況〔3月〕…………… 5
- ◇栗駒高原森林組合運営機構図…………… 6
 (株)栗駒高原開発センター運営機構図
- ◇新規採用職員紹介…………… 6
- ◇平成26年度緑の雇用研修修了…………… 6

ごあいさつ



代表理事組合長 佐藤 明則

組合員の皆様方には日頃より組合事業にご協力頂きまして感謝申し上げます。3月24日の理事会の互選会において再度組合長に選任されました。今後3年間全力で組合運営に当りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

森林は、地球温暖化防止対策、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源の涵養など国土保全のために重要な役割を担っています。これらの機能を維持し、国民の安全を守る仕事についているのが我々の林業です。更に森林組合は組合員の経済的、社会的地位の向上に寄与する目的をもって活動をしています。

今日林業経営を取り巻く経営環境は大きな転換期に直面しております。我が国の林業は昭和50年代半ばをピークに長らく低迷しておりましたが、林業再生の諸施策のもとに、大きな成長分野として関心を集めています。

変化に対応するスピードや厳しさに欠けた経営ではせっかくのチャンスを逃がしてしまいます。時代、環境の推移に対応した経営を目指し、職場環境を整備し、生産性の向上、競争力のある事業体、産業へと成長していく必要があります。

このことに真剣に取り組んでいきます。生産性を高める創意工夫と人材の育成が不可欠です。これを充実させる取り組みをしっかりと進めます。現在、提案型集約化施業や高性能林業機械の導入などによる生産の低コスト化を推進しています。職場の全員が能力、アイデアを出し合い、問題解決に取り組む更なる改善を進めて行く必要があります。

栗駒高原森林組合は森林整備部門が主力で販売部門はまだ追いついていないのが現状です。今後この部門の強化が課題となり、成長産業の力ギを握る部門になります。組合員の経済的向上のために頑張っています。栗駒高原森林組合に皆さまのご支援よろしくお願ひ申し上げます。

平成27年度「第13回通常総代会」終了報告

去る、3月24日午前10時より第13回通常総代会が栗駒農協栗駒農業団地センターで開催されました。

◎総代数 200名
◎出席状況 154名
本人出席 0名
委任出席 8名
書面議決 162名
計 162名

◎議長

- 菅原直之(総代、栗駒地区)
- 第1号議案 平成26年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案に関する件
- 第2号議案 平成27年度事業計画に関する件
- 第3号議案 平成27年度役員報酬に関する件
- 第4号議案 平成27年度余裕金預入先に関する件
- 第5号議案 平成27年度借入金最高限度を定める件
- 第6号議案 平成27年度1組合員又は1の組合員以外の者に

対する貸付金額の最高限度を定める件

第7号議案

平成27年度1組合員の負担する債務に対する債務保証の最高限度及び事業年度内における債務保証の最高限度を定める件

第8号議案

役員を選任に関する件
提出議案8件全議案原案通り可決されました。

主な質疑応答内容については、次の通りでした。

①小野寺洋一氏(尾松地区)

質問：事業利益の主な要因は何か。
回答：森総研からの事業量の増丸太販売が好調で、市からの事業が多かった。

②千葉勝美氏(花山地区)

質問：職員の退職月と決算年度末との整合性について問う。
回答：職員の退職日は誕生日であるがこれまで不都合はなかった。

③齋藤房郎氏(鳥矢崎地区)

質問：職員の退職者はいないと云ったが退職金が発生しており整合性について問う。
回答：年度末退職再雇用で総数の関係で指導をうけ記載したが修正をお願いしたい。

④高橋卓司氏(尾松地区)

質問：総代の地区別定数と開発センターの規程等の整備について代表監事の腹案があれば伺いたい。
回答：地区別定数については合併時のもので流域定数を平均に改めてよいのではないかと開発センターは組合の子会社でもあるので同様に十分考慮して整備して頂きたい。

⑤齋藤政憲氏(長崎地区)

質問：男女共同参画の立場から森林組合ではどう考えているか。
回答：組織として男女平等に行っている。女性役員の積極的な参加を希望する。

⑥狩野章氏(金田地区)

質問：理事と監事の報酬率の違いの根拠を問う。
回答：経営努力に対して経営者にもというところで上げている。報酬率の違いについては全体で考えている為不平等性はない。



小野寺洋一氏



千葉勝美氏



齋藤房郎氏



高橋卓司氏



齋藤政憲氏



狩野章氏

新執行体制 スタート

第13回通常総代会の承認を受け、3月24日新役員での第1回目の理事会、監事会が開催されました。代表理事組合長は佐藤則明理事が再任され、副組合長には秋山憲義理事が再任、代表監事には鈴木清彦監事が再任され新執行体制が決定しました。

又、(株)栗駒高原開発センターの臨時社員総会が行われ、取締役には秋山憲義理事、芳賀恭理事、菅原英俊理事、佐藤幸吉理事、監査役に阿部次貞監事が選任され、代表取締役には秋山憲義理事が選任されました。

◎ 新役員は、下記の通りです。
(理事11名・順番は理事会決定通り)

理事 3  佐藤 幸吉 金田地区	理事 2  佐藤 倫治 花山地区	理事 1  中川 壽一 栗駒地区	副組合長理事  秋山 憲義 姫松(栗駒)地区	代表理事組合長  佐藤 則明 真坂地区
理事 8  菅原 恭一 栗駒地区	理事 7  芳賀 恭 岩ヶ崎地区	理事 6  菅原 勝宏 文字地区	理事 5  岩崎 正樹 鳥矢崎地区	理事 4  菅原 英俊 鶯沢地区
監事 2  門 傳 仁 長崎地区	監事 1  阿 部 次 貞 岩ヶ崎地区	代表監事  鈴木 清彦 文字地区	監事 3名 順番は監査会 決定の通り	理事 9  狩 野 周 一 花山地区

2015『第12回栗駒高原森林まつり』

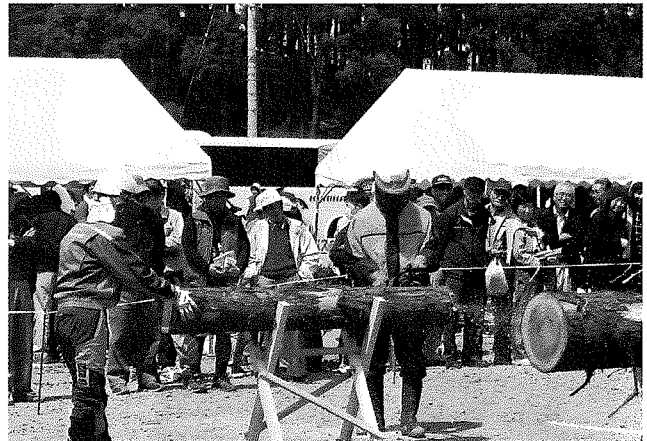
平成27年4月18日(土)／栗駒高原森林組合

2015「第12回栗駒高原森林まつり」を、森林組合事務所を会場として開催しました。

例年を大幅に上回る千数百人以上の来客があり大盛況となり、野外ステージでは「ともえ座」のミニ演芸があり、熱烈なファンの方々にいっぱいでした。カラオケ大会では花山の千葉清春さんが見事第3回大会の優勝者となりました。

また、例年行っている「木工教室」では準備した150組のキットが開催時からの大人気で、熱のこもった作品作りとなりました。チェンソーの技術向上を図るため、4回目となった技術大会も普段ではなかなか見れないパフォーマンスをご覧頂きました。展示即売コーナーでは、放射能で販売を自粛していたキノコ原木の販売に開催時間前から長蛇の列で、緑化木、苗木、花鉢、機械・器具等の販売も行い、たくさんご購入頂きました。

今年の大抽選会は、一迫柳目の佐藤さんが特賞の「ハイルザーム栗駒宿泊券」を、「ゆめぐり賞」を栗駒の阿部さんが射止められました。晴天にも恵まれ、お花見の時期での開催となり、ご来場頂きありがとうございました。



『特賞』佐藤 聖真 くん(3)

樹木の豆知識シリーズ②⑩

「サカキ」ってなあに？

◎「サカキ」ってどんな木？

「サカキ」はツバキ科サカキ属の常緑高木。山地に自生し、関東地方南部以西に分布する。低木を見ることが多いが、高さ12mになるものがある。

一般に榊といわれているものには、^{ほんさかき}本榊とひさかきの2種類がある。

榊が育成しない主に東日本では、ひさかきを代用していることもあり、見分けるポイントは葉縁でひさかきの葉は小さくぎざぎざしている。

日本では古くから神事に用いられる植物であり「榊」という国字もそこから生まれた。

田舎などでは庭先に植えられている家庭も多く、家庭の神棚にも捧げられている。



▲鳥合神社(栗駒町田地区)の本榊



◎名 称

サカキの語源は、神と人との境であることから「^{さか}境^き木」の意であるとされている。

= 木 材 市 況 [3 月] =

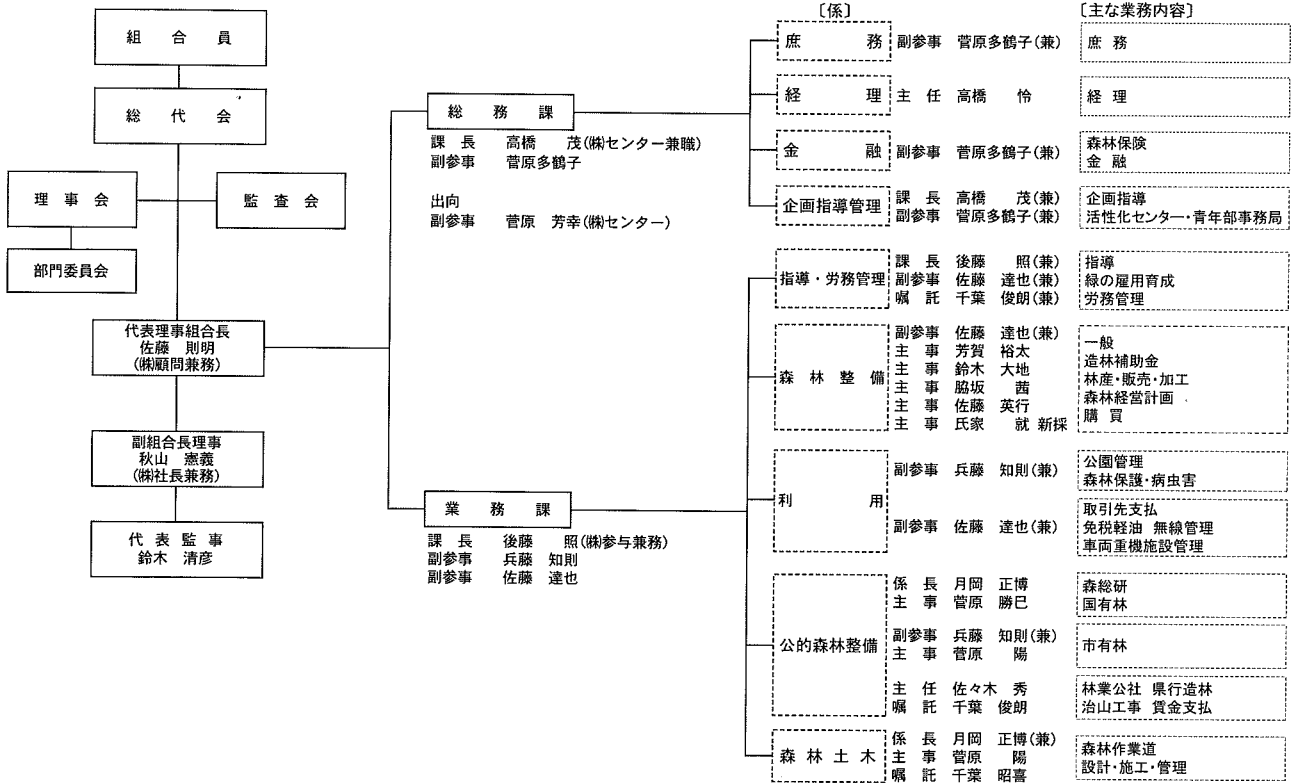
価格：1m³当たりの単価

	樹種	材 長	径 級	高 値	中 値	安 値	比	備 考
仙 北	スギ	3.00	14~16	—	—	—	—	市 日 24日
			10~13直曲	10,800	10,080	2,880	▽	出品量 596m ³
	4.00	14~18	11,160	10,080	7,200	▽	販売量 596m ³	
		20~28	11,520	10,800	8,500	—	販売率 100%	
		30上	11,880	11,520	8,500	—	販売額 5,698千円	
		1.95	16上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 9,560円
大 衡	スギ	3.00	14~16	11,520	10,800	2,880	—	市 日 12日
			10~13直曲	10,800	10,080	2,880	▽	出品量 555m ³
	4.00	14~18	10,800	10,080	7,200	▽	販売量 474m ³	
		20~28	11,520	10,800	8,500	—	販売率 85%	
		30上	12,600	11,520	8,500	—	販売額 4,345千円	
		1.95	16上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 9,167円

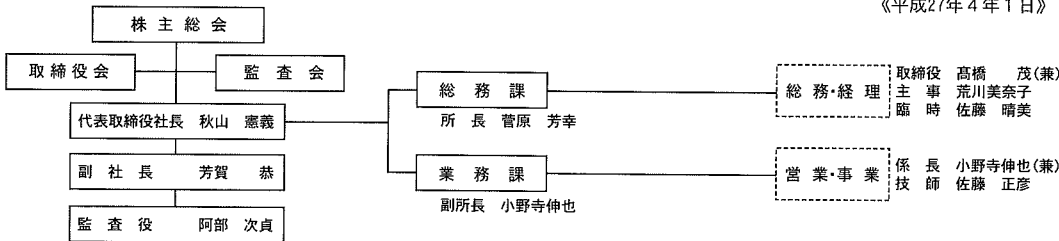
《△：上げ —：保合 ▽：下げ》※安値は曲材の価格です。

概況：各センターは入荷は順調となり荷動きも悪くはないが原木価格は製品市況の低迷から値下がり傾向となっている。特に4.00m小丸太材は今後も値下がり傾向が続くそうだが、中目材以上については横這いからやや値下がり傾向での動きになると思われる。

栗駒高原森林組合運営機構図

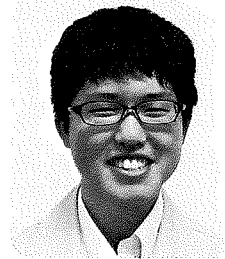


(株)栗駒高原開発センター運営機構図



《新規採用職員紹介》

平成27年 4月1日付採用



氏 家 就

配属課／業務課

年 齢／18歳

出身地／栗原市築館

《退職》 平成27年 4月30日付

千葉 俊 朗 出身地／栗原市栗駒

《平成26年度 緑の研修生修了》

本年度も緑の研修生(第十一期生)3名が研修を修了し、4月1日付で本採用となり、本格的に各現場で作業班員としてスタートしました。



川 田 友 和(33歳)
出身地 栗原市一迫

佐 藤 幸 治(33歳)
出身地 一関市滝沢

横 山 正 浩(49歳)
出身地 栗原市栗駒

組合員皆様方の温かいご支援、ご指導宜しくお願いたします。